



学校だより

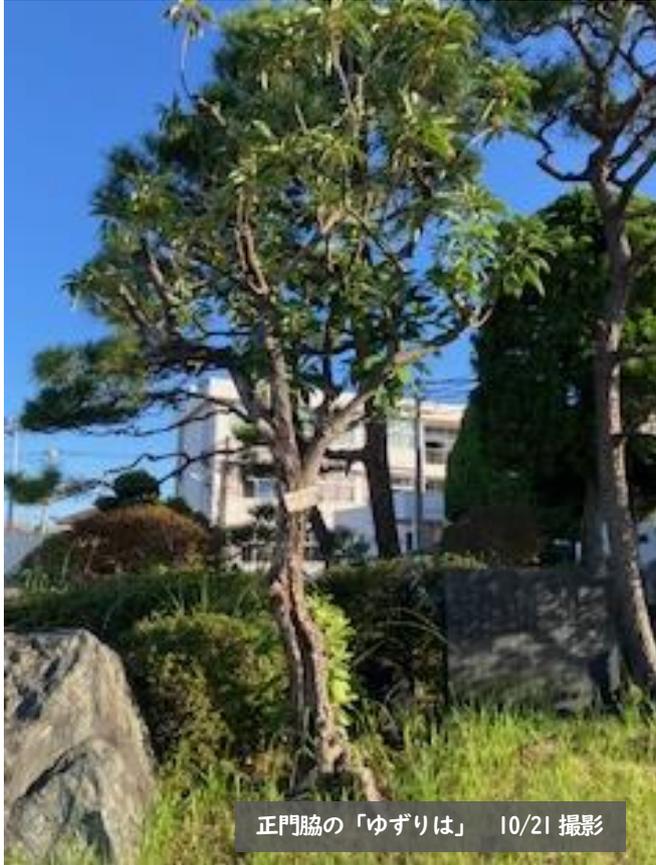
志高く

正しい判断力とたくましい実践力を
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和6年10月21日
第15号

ゆずりは

校長 清水利浩



正門脇の「ゆずりは」 10/21 撮影

本校の正門を入ると、左側の植え込みの中に「ゆずりは」と書かれた老木があります。高さ5mほどの常緑樹木です。

この木の名前の由来は、春先に新しい葉が出ると、古い葉が落ちることから「ゆずりは」というのだそうです。世代をゆずる樹木として、子孫繁栄などの縁起をかつぐものとして、正月の飾りによく使われるといえます。

若葉が生えそうと、古い葉がいつせいに落ちます。次の世代が、しっかりと成長したのを見届け、その座をゆずるように、はかなくも、しかし、力強い世代交代をつづけて繁栄する樹木なのです。

先ほど、生徒会本部役員選挙の投票結果が発表されました。これも、その一つなのだと思います。本校でも、最上級生の3年生から、1,2年生にいろいろなものが引き継が

れています。部活動では、ほとんどの部活動において、1,2年生にバトンが渡されています。

今週末におこなわれる東雲祭では、3年生は、てっぺん目指して素晴らしい合唱をこの体育館いっぱいに響かせてくれることと思います。そして、1,2年生は、この熊谷東中学校の素晴らしい伝統を引き継ぎ、さらに発展させてくれることと思います。

ゆずり葉の木が、本校の正門に入ってすぐのところに植えられているのも、なるほどと感じます。後期も皆さんの活躍を大いに期待します。以上、後期始業式の式辞とします。

<参考資料>

- 昨年度の6月15日号の学校だより「志高く」では、正門に入って、掲示板横にそびえる樹木「タイサンボク」についても紹介しています。タイサンボクの花言葉を調べてみると、「前途洋々」や「莊嚴」「威嚴」という意味があります。ホームページの学校だよりのところからご覧ください。
- 「天声人語」(2024年7月23日) 朝日新聞